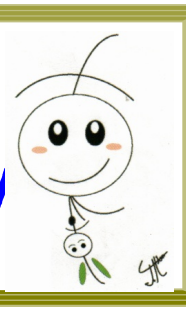
第409号
平成31年
1月10日

すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住専売店
TEL3803-1781
発行責任者
鬼塚　佳代子
TEL090-2657-0300

優しい気持ちに出会える映画「みんなの学校」を観に来ませんか

「「みんなの学校」は生き抜く力を与えます。」

映画「みんなの学校」は、不登校ゼロを目標とした学校作りを目指す大阪市立大空小学校の一年間を追ったドキュメンタリーです。文化庁芸術祭大賞をはじめ、多くの賞を受賞しています。

「すべての子どもが安心できる場所。安心して学べる学校」

大空小学校はごくふつうの公立小学校ですが、不登校も特別支援学級もない、同じ教室で一緒に学ぶみんなが笑顔になる挑戦をしています。また、地域に開かれた学校として、保護者らの支援だけでなく地域の住民や学生のボランティアなど多くの大人たちで見守れる体制を作っています。　ちなみに大空小学校は全国学力調査の平均点が、必ず成績上位に入る秋田県を上回ったこともあります。

「自分がされていやなことは人にしない。言わない。」

これは校則のない大空小学校のたった一つの約束です。成長のスピードも、環境も人それぞれ。互いの違いを理解し尊重し合う子どもたちを育てています。

「この約束があるのなら、自分もこの学校なら行けるかもしれない」と全国各地から、支援を必要とする子どもたちが数多く、校区内へと引っ越してきています。

「出会いは奇跡」

人が一生で出会う人の数は何らかの接点を持つ人三万人、同じ学校や職場、近所の人三千人、親しく会話を持つ人三百人人、友人と呼べる人三十人、親友と呼べる人三人だという説があります。人との出会いは天文学的奇跡です。

この小学校に優しいおとなたちに、出会えた子どもたちは、安心できる自分の居場所を見つけ、前進して行っています。

発達に障害や特性を持った子どもたちは、自分の思いをうまく伝えられずに怒ったり泣いたりしながら葛藤し、一筋縄ではいかない子どもたちを前に先生は悩みつつも子どもたちを受け止め、本気で接していく。本人も周りの子どもや大人も変化していく。日々のやり取りの中に、大きな愛と真剣勝負があり、生々しくすがすがしいドキュメンタリーです。

「みんなの学校」との出会いで新しい自分にも出会えると思います。

荒川区外の方もご覧になれます。事前申し込みが必要です。左記まで

※主催の凸凹の子と一緒に育つ会「ひだまり」は発達に障害や特性を持った子どもたちと親中心の会。荒川区内等で活動されています。インクルーシブ（＝包括的な　包み込む）な社会を目指し、親子参加のイベントを実施したり、保護者の交流会や勉強会を催しています。

「みんなの学校」上映会　入場無料

2019年1月27日（日）

・1回目10時30分～12時30分（満員になりました）

・2回目14時～16時（上映30分前より受付開始）

【各回定員100名、事前予約制、先着順】

会場：ゆいの森あらかわ 1Fゆいの森ホール

◎ボランティアによる託児あり（1歳児～未就学児）

下記のお申込みフォームより、必要事項をご記入の上、お申込みください。

https://ws.formzu.net/fgen/S29734956/

主催：凸凹の子と一緒に育つ会『ひだまり』

後援：荒川区教育委員会